# ９月号
# すくすくげんき通信

明野しいのみ保育園　令和２年８月２８日発行

日中は 40℃近くになる猛暑の夏となりました。9 月になりますがまだまだ熱中症などに注意が必要です。中旬より大分市内での新型コロナウイルス感染症の罹患が報告され、近況での感染が日に日に増加していく可能性があるかと思われます。こまめな手洗いや十分な換気、密にならないことが大切です。保育園では長時間にわたり子どもが生活をしていく上で、子ども達が密を避けて遊ぶということが難しい場面もありますが、できるだけ密を避け、園内の消毒など感染予防に努めています。ご家庭でも手洗いなど感染予防にご協力くださいますようお願いします。

## 清潔保ってバリア！あせも予防

汗をたくさんかく夏に気をつけたい、あせも。白や赤のポツポツができ、赤いものはかゆみを伴います。

原因は大量に汗をかき、汗の出る穴がふさがることです。しっかりと汗のケアをして、予防しましょう。

アトピー性皮膚炎の子どもさんは症状が悪化することもあるので注意しましょう。

☆こうして予防・・・
〇吸湿、吸水性のよい衣類を選ぶ
〇こまめに着替えましょう（薄着が基本）
〇クーラーを上手に使いましょう
〇汗をかいたらタオルで拭いたり、シャワーを浴びて常に皮膚をせいけにしましょう

（汗のたまるところは、特に注意が必要です）
※首　※わきの下　※ひじ、ひざの裏など
皮膚がこすれる場所などにできやすいです。

## ９月９日は救急の日です！

救急とは急病やケガの応急手当をすることです。大きな病気やケガだけでなく、すり傷やきり傷の手当ても「救急」の仲間です。ケガが多いのは、おうちのかたにとっても心配ですね。大人も同じですが、体を動かす活動の中で、小さなすり傷やきり傷は避けられません。ケガを通して、何が危ないのかを学ぶ側面もあります。ケガをしたときは、手当てとともに、なぜ、ケガをしたのかを一緒に考えることが、次のケガの予防、より大きなケガの予防につながります。まずはケガをしたときの応急手当をしっかり覚えておきましょう。

### 応急手当の３つのない

動かさない・・・ケガをしたところは無理に動かそうとせず、安静に。

こすらない・・・目に入ったゴミや、すり傷についた砂はこすらず、水で洗い流そう

あたためない・・・まずは、冷やす。腫れや内出血をおさえて痛みを軽くしよう